

保育の理念・実践を伝え合い、分かち合い、共有する。
「みんなでみんなをみていく」法人内会報。



2021.10

編集・発行／本部 広報・企画・編集室 中村聖子

『実りの季節』

片山 喜章

昭和の昔から「運動会が終わると子どもたちが一段と成長したように感じる」と言われます。保育者なら誰もが実感していることでしょう。なぜでしょうね。一方で季節に関係なく“発達段階に沿った保育をしましょう”とよく言われます。ダイバーシティ（多様性）の考え方がもう少し日々の実践のなかで定着しだすと、画一思考型といえる「発達論」はさほど重要ではなくなるかも知れません。（以前から発達心理学自体に異論を唱える学者は結構います）。

私論ですが「子どもは季節によって、育てているものが違う」と感じています。それは行事等、集団活動の経験量と“季節の風”の影響を強く受けて子ども集団が変容し、それが個々の持ち味や感性や欲求をも変容（成長）させる、という考えです。

この時期、梨、柿、葡萄などの果物や多くの穀物が実ります。それに似て、子ども達にも発達とは別の意味で心身に「実り」が訪れるのだろうと期待します。

 @_tanenokai_

 @tanenokai

Tanenokai Topics

評議員について

10月1日に本部事務所にて、評議員選任・解任委員会が開催されました。長年、評議員を務めていただいた橋本篤慶氏、渡久地歌子氏が辞任されました。新たに、大慈厚生事業会の坂本和恵氏、公認会計士の川野兵馬氏が選任され、就任をご承諾いただきました。

みやざき保育園 新園舎の建設業者決定！

みやざき保育園の新園舎建設業者が、長栄興業株式会社に決定しました。10月1日着工です。

◀▼解体工事が終わり、工事安全祈願祭は馬絹神社で。



はっとこども園 研究大会で発題！

10月13日に開催された、第54回全国保育士会研究大会第4分科会にて、はっとこども園の●●●●先生（保育教諭）、●●●●先生（栄養士）が発題しました。テーマは、『食育を通して子どもの生きる力を育てる～5歳児のやりきるクッキングとそれを支える0歳児からの食育実践～』です。

本物体験をしていること、食を通して友達や地域との関係性を構築していること、また、子どもの姿を読み解く保育者の力が称賛されていました。論文作成も含めて、約1年間の集大成。お疲れ様でした！



大画面に映して、みんなで応援中！▶



1つずつ、施設をピックアップして紹介していきます。
今回は、法人1号園の「はっとこども園」です。保育は同年齢・異年齢のWスタンダード。前向きでしなやか、前進のために「とりあえずやってみる」精神が尊重される職員集団です。様々な変化を受け入れ進化してきた、はっとこども園の“今”を紹介します。

研究大会でも発題！ はっとこども園の“食育”

ひらめき研でテーマにしたり、全国保育士会 研究大会で発題したりと、はっとこども園全体で「食育」がホットなテーマの1つになっているとのこと。「生きる基本として、食の知識・食を選択する力を身につけるための食育」「人と人の関係性を構築する場としての食育」など、実にいろいろな角度からの取り組みがあります。



「3色の栄養素」
給食前に、食材1つをピックアップして栄養士より説明。



「クッキング」
全年齢クラスで、月に数回実施。



「やりきるクッキング」
5歳児が、カレー作りに繰り返し挑戦。研究大会の発題テーマ。



「栄養士と一緒にする食育」
おおよそ月1回、栄養士が季節の食材を使った食育を実施。



「日本の郷土料理・世界の料理」
年4回、多彩な食文化（料理、言葉、特色など）にふれる。



「農育・こども農園」
野菜や植物の栽培・収穫などを体験。

子どもの意見が反映された保育活動

はっとこども園（特に5歳児）では、保育者が計画して行なう活動があれば、テーマごとに委員会をつくって、計画段階から子ども達が「参画」する活動もあります。保育者が考える保育活動・保育環境に子どもが「参画」し、子どもの意見が反映されていきます。子どもの思いもよらない発想や、大人以上の感性に驚かされることもしばしば。導きと見守りの中で、子どもが主体的に取り組むことができる仕組みです。

絵本委員会に潜入取材！

話し合いの様子はこちらから→



（各クラスの活動にリンクしたものの）
保育者が選定した絵本

絵本委員会の子も達が各クラスにおすすめする絵本



絵本の紹介ポスター

▲絵本コーナーの環境

その他（過去の取り組みも含む）

- ・パズル委員会（保育者が意図的に出すパズルの他に、コーナーに置くパズルを子どもが考える）
- ・組体操委員会（どんな1～3人技をするか考える）
- ・ピアノカ委員会（得意な子が苦手な子に教える）
- ・サーキット委員会（サーキットコースを考える）
- ・子どもがつくる週案（1週間の主活動を決める）
- ・誕生会委員会（姉妹園でいう誕生会プロジェクト）など。

→ ユナタンでも取り上げられています！



5歳児が同年齢で行なうことが多いですが、テーマによっては異年齢で取り組むことも。自治する力（自分や自分たちに関することを、自らの責任で行なう力）が存分に発揮されます。